

平成26年度 帯広市教育研究所 第2回 運営委員会 記録

日時 平成27年2月23日(月) 10:00～11:10
場所 市庁舎8階 教育委員会室

<出席者>

八鍬教育長 嶋崎学校教育部長
野原調整監 村松学校指導担当企画監
笹木 卓三委員長 山内 欣子副委員長
田中 康雄委員 遠藤 明德委員 河合 昇委員 宝輪 佑子委員
能戸 貴英委員
平野 有子委員 野原 圭介委員 長嶋 有希委員
糊澤所長 浪内指導主事 村瀬指導員 本郷事務員

- 1 教育長挨拶
- 2 委員長挨拶
- 3 議事

- (1) 平成26年度事業報告
- (2) 平成27年度事業計画
- (3) その他

- 4 質疑事項

- データベース教材において、全国学力・学習状況調査算数B問題(以下、算数B問題と表記)に視点を当てたのはなぜですか。
*全国的にも帯広市においても、算数B問題に課題が見られるからです。また、算数B問題を解きながら概念理解を図ることが、基礎・基本の確実な定着にもつながるからです。
- 研究所の成果物を、各学校にどのように周知していくのかが課題であると感じるが、いかがですか。
*研究所広報の教育情報における情報発信やHPでの発信等行っていますが、校長会議及び帯教研の会議等でも、今後定期的に発信を行います。
- 特別支援教育に関する研究で、「保護者相談」の教育資料がありますが、どのような内容なのですか。
*具体的な相談場面における保護者や関係機関との連携の在り方に視点をあてたものです。
- 道徳の教科化に向けた資料づくりについてお聞かせください。
*「私たちの道徳」の積極的な活用を図るための資料を作成し、各学校へ配付する予定です。

- 5 閉会